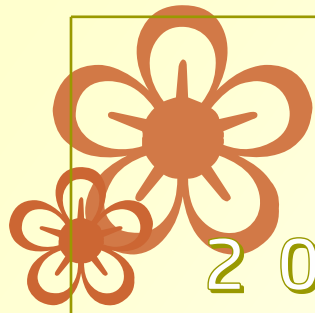




2025年

理工学の分野は 世界共通

あけましておめでとうございます。

2024年は皆さんにとってどんな年でしたでしょうか。いろいろあったと思いますが、野球好きの私にとっては大谷選手の“50-50”が大変印象的でした。日本のプロ野球出身の選手が、MLBでタイトルを取るだけでなく、前人未踏の記録を残すとは！ 私が子供の時には日本のプロ野球選手とMLBのプロ野球選手には大きな実力差があり、勝ち越すどころか1勝するのがやっとでした。今では多くの日本プロ野球選手が海外にわたり、目覚ましい活躍をしています。

サッカーなどの他のスポーツもそうですが、天性の才能と並外れた努力で彼らは海外で活躍しています。でも皆がそんな才能を持っているわけではないですね。ところが電子情報通信学会が関わっている多くの理工学の分野は、世界で共通の内容を取り扱っています。大学院の学生でも自分の専門を深く学び新たな発見をするために、海外の大学に留学する学生もたくさんいます。高校・大学で理工学を学ぶことによって、世界で活躍する道が開けるのです。

欧米の大学の先生は、日本を含むアジアの国々からの留学生を多数受け入れています。勤勉で粘り強く研究を遂行してくれる真面目な学生が多いので、とても期待していると。また留学によって感性も広がり、日本の見方が変わります。私も大学院生時代にカナダに留学していました。日本料理などに現れる繊細さや当たり前のように時間を守る日本人の気質は、世界的には非常に貴重なものだと理解することができました。

留学する日本の学生数は近年少なくなっています。新型コロナウイルスの影響から回復している途中ですが、まだピーク時の半分ぐらいのようです。しかし昔と違って公的な制度で留学する機会も増えました。年の初めに皆さんも将来の留学計画を考えてみてはいかがでしょうか。

(慶應義塾大学 眞田幸俊)